

第6回土砂災害に関するシンポジウム

開催日：2012（平成24）年8月23日（木） 9:00～17:20
2012（平成24）年8月24日（金） 8:30～16:50

近年、特に2003年九州豪雨災害、2004年新潟・福島豪雨災害、2005年宮崎豪雨災害、2006年鹿児島県北部豪雨災害、2009年中国九州北部豪雨災害、2011年台風12号災害そして2012年度の九州北部豪雨災害など毎年のように豪雨災害が頻発しております。しかも人的被害の多くは土砂災害に起因したものです。このような状況の中、土砂災害防止法が2001年に施行され、地方自治体では土砂災害警戒区域などの指定が進められています。そのため、指定地域では警戒避難体制の整備などソフト対策の充実が迫られており、土砂災害の予知・予測の精度向上が一層急務となっております。

土木学会西部支部では、2002年度から、「土砂災害に関するシンポジウム」を隔年で開催し、土砂災害の危険度評価や予知・予測法などについて広範な分野からの参加を募り、学際的見地から発表・討議を行って参りました。2010年度山口においては、全国から、42編の研究発表と200名を超える研究者・技術者・防災行政担当者の参加を得て発表・討議を行いました。従って、2012年度におきましても、砂防、地盤、河川、水文・気象、地形・地質、防災工学など広範な分野からの参加を募りシンポジウムを開催することとなりました。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. **主催**：公益社団法人土木学会西部支部
2. **後援**：(社)砂防学会、公益社団法人地盤工学会、公益社団法人日本技術士会九州支部
(社)日本地すべり学会、水文・水資源学会、(社)日本応用地質学会、日本自然災害学会
3. **開催期日**：2012年8月23日（木）、9:00～17:20
24日（金）、8:30～16:50
4. **開催場所**：宮崎観光ホテル(〒880-8512 宮崎県宮崎市松山1-1-1) 東館3F 緋耀の間
(詳しくは、5ページに示しますアクセス方法と地図を参考にしてください)
5. **CPD**（土木学会）、**CPDS**（全国土木施工管理技士会連合会）：1日目：7P、2日目：7P（現在申請中）
6. **プログラム**：

8月23日（木）

9:00～9:10 開会挨拶 「第6回土砂災害に関するシンポジウム」実行委員長 谷口義信

【セッション1 東日本大震災】

9:10～9:30 東日本大震災で発生した廃木材と津波堆積物の再資源化による地盤材料の開発
東北大学大学院環境科学研究科 高橋 弘・里見 知昭
東北大学大学院環境科学研究科環境科学専攻 栗原 弘樹

9:30～9:50 津波堆積物の再資源化による人工地盤造成
東北大学大学院環境科学研究科 高橋 弘・里見 知昭
(株)森環境技術研究所 森 雅人

9:50～10:10 東日本大震災における鋼製帯状補強土壁の被災度調査結果と今後の課題
ヒロセ(株)九州補強土事業部 佐原 邦朋
ヒロセ(株)東北補強土事業部 高尾 浩司郎
ヒロセ(株)補強土事業本部 尾方 武文

[10:10～10:20 休 憩]

10:20～10:40 東北地方太平洋沖地震における補強土壁の被災調査と排水機能強化による復旧事例

ヒロセ(株)補強土事業本部 尾方 武文

ヒロセ(株)東北支店 高尾 浩司郎

ヒロセ(株)九州支店 佐原 邦朋

10:40～11:00 東北地方太平洋沖地震による津波堆積物—宮城県の砂浜海岸の調査事例—

(株)ダイヤコンサルタント西日本事業本部 中倉 弘道

(株)ダイヤコンサルタント東日本事業本部 高野 邦夫・大内 学

(株)ダイヤコンサルタント西日本事業本部 矢ヶ部 秀美

11:00～11:20 内陸部で発生した地震に伴う斜面災害事例の報告

日本工営(株) 石田 貴広

【セッション2 斜面崩壊、砂防】

11:20～12:00 【招待講演】 2011年台風12号による大規模土砂災害

京都大学防災研究所 藤田 正治

[12:00～13:00 昼 食]

13:00～13:20 降雨浸透に伴う砂質模型斜面内の間隙水圧上昇とせん断変形

高知大学教育研究部自然科学系 笹原 克夫

文部科学省研究開発局 酒井 直樹

13:20～13:40 雨量が斜面崩壊の頻度・規模に及ぼす影響：2011年台風12号による斜面崩壊状況の解析

国土技術政策総合研究所 内田 太郎・佐藤 匠・水野 正樹・林 真一郎・岡本 敦

13:40～14:20 【基調講演】 深層崩壊の予測

鹿児島大学農学部 地頭 薫 隆

高知大学教育研究部自然科学系 笹原 克夫

京都大学大学院農学研究科 小杉 賢一郎

東京農工大学国際環境農学専攻 五味 高志

独立行政法人土木研究所 石塚 忠範

[14:20～14:30 休 憩]

【セッション3 豪雨に伴う崩壊・土石流の発生・流動・堆積および対策工法】

14:30～14:50 無降雨時に土石流が発生する溪流の判別方法と土石流発生タイミングの評価指標に関する研究

一般財団法人砂防・地すべり技術センター 中野 泰雄・嶋 大尚・宮崎 新二

国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所（前 鹿児島県砂防課） 伊藤 仁志

14:50～15:10 土砂流出に関わる流域特性よる河川の類型化と形成される河道タイプについて

(独) 土木研究所 水環境研究グループ 自然共生研究センター 高岡 広樹・大石 哲也・原田 守啓

(独) 土木研究所 水環境研究グループ 河川生態チーム 萱場 祐一

15:10～15:30 宝暦5年(1755年)に球磨川中流域で発生した深層崩壊と天然ダムの形成

アジア航測(株) 小汐 真由美・吉川 智彦

15:30～15:50 平成21年7月山口県防府市で発生した土石流の特徴と発生頻度の歴史的評価

アジア航測(株) 西日本コンサルタント部 阪口 和之

山口大学大学院理工学研究科 鈴木 素之・中田 幸男・兵動 正幸

[15:50～16:00 **休 憩**]

16:00～16:20 プロセスモデルを用いた地形分析による山地流域の土砂流出特性の検討

九州大学大学院工学研究院 池見 洋明・三谷 泰浩

九州電力株式会社耳川水力整備事務所 吉武 宏晃

九州大学大学院工学府 鮫島 康之

16:20～16:40 福岡県における土砂災害分布の経年的特徴

西南学院大学人間科学部 磯 望

福岡教育大学教育学部 黒木 貴一

西南学院大学 宗 建郎・黒田 圭介

長崎大学熱帯医学研究所 後藤 健介

16:40～17:00 2005年台風14号による宮崎県の土砂災害

宮崎大学土木環境工学科 瀬崎 満弘

宮崎県地質調査業協同組合 澤山 重樹・長友 貞文

基礎地盤コンサルタンツ(株) 宮崎事務所 松本 一春

17:00～17:20 グラウンドアンカーの耐震性確認と砂防えん堤補強・災害復旧への応用

(株)エスイー環境防災事業部 竹家 宏治

☆18:00～20:00 懇親会：宮崎観光ホテル東館13F「銀河の間」

8月24日(金)

【セッション4 新燃岳噴火, 警戒避難, 監視システム】

8:30~8:50 無線センサネットワークを利用した長期斜面モニタリングに関する課題と改善
鹿児島大学大学院理工学研究科 酒匂 一成
西松建設(株)西日本支店 梅田 和明
立命館大学大学院理工学研究科 的場 洋平
立命館大学理工学部 深川 良一
鹿児島大学大学院理工学研究科 北村 良介

8:50~9:10 伸縮計・傾斜センサー及びネットワークカメラによる被災斜面の監視事例
中央開発(株)九州支社 藤谷 久
中央開発(株)本社 防災モニタリング事業部 山口 弘志

9:10~9:30 土砂災害のソフト対策の現状と課題に関する研究
長崎大学大学院 高橋 和雄

9:30~9:50 2011年霧島山(新燃岳)噴火によりテフラが堆積した高千穂峰南側斜面における土砂移動
独立行政法人土木研究所 木佐 洋志・山越 隆雄・石塚 忠範

[9:50~10:00 休憩]

10:00~10:20 2011年に噴火した新燃岳の噴火堆積物の分析
(株)晃和コンサルタント 野尻 正太・高谷 精二・鈴木 恵三

10:20~11:00 【特別講演】新燃岳噴火に伴う土砂災害対策について
国土交通省九州整備局宮崎河川国道事務所 佐々木 美紀

【セッション5 調査・解析, シミュレーション, 水理】

11:00~11:20 基盤地図情報の5mDEMによる御笠川の氾濫の地形条件分析
福岡教育大学 黒木 貴一
西南学院大学 磯 望
西南学院大学 宗 建郎
長崎大学熱帯医学研究所 後藤 健介
西南学院大学 黒田 圭介

11:20~11:40 軟岩河床における根固ブロックの安定性に関する実験的研究
寒地土木研究所 寒地河川チーム 井上 卓也・阿部 孝章
北海道開発局旭川開発建設部 名寄河川事務所 村上 泰啓

11:40～12:00 コンポジット空中写真による土地被覆分類図を用いた土地条件解析事例～大分川を例に

西南学院大学 黒田 圭介

福岡教育大学教育学部 黒木 貴一

西南学院大学 宗 建郎

西南学院大学人間科学部 磯 望

長崎大学熱帯医学研究所 後藤 健介

[12:00～13:00 昼 食]

13:00～13:20 【緊急災害報告】

平成 24 年 7 月九州北部豪雨に伴う土砂災害と砂防・治山施設の効果（速報）

九州大学大学院農学研究院 久保田哲也

13:20～13:40 透過型砂防堰堤の設置位置・形状に着目した最適解探索

京都大学大学院農学研究科 中谷 加奈

立命館大学理工学部 里深 好文

京都大学大学院農学研究科 水山 高久

13:40～14:00 深層崩壊に起因する土石流の流下過程に関する数値シミュレーション

(株)建設技術研究所（元（独）土木研究所） 西口 幸希

国土技術政策総合研究所 内田 太郎

(独)土木研究所 石塚 忠範

立命館大学理工学部 里深 好文

京都大学大学院農学研究科 中谷 加奈・水山高久

14:00～14:20 2010 年 7 月広島県庄原市において発生した崩壊型土石流の流出特性について

山口大学大学院理工学研究科 永野 博之・羽田野 袈裟義

中電技術コンサルタント(株) 杉原 成満

山口大学大学院理工学研究科 渡辺 新・朝位 孝二

[14:20～14:30 休 憩]

14:30～14:50 流木を伴った土石流の流動モデルの構築と流出予測に関する研究

九州大学大学院工学研究院 橋本晴行

国土交通省青森河川国道事務所 三好朋宏

九州大学大学院工学府 橋村京介・Farouk Maricar・池松伸也

山口大学大学院理工学研究科 永野博之

14:50～15:10 航空レーザー計測による差分解析の問題点と対策に関する一考察

国土交通省 九州地方整備局 河川計画課 前田 昭浩
国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所 杉山 光徳
(株)パスコ 柴田 俊彦・大石 忠・本田 健・武田 大典

15:10～15:30 1953年6月水害における室見川・樋井川の河川水量試算

西南学院大学 宗 建郎・黒田 圭介
福岡教育大学 黒木 貴一
西南学院大学 磯 望
長崎大学 後藤 健介

15:30～15:50 透過型砂防えん堤における土砂・水・流木混相流の挙動に関する水路実験

九州大学大学院工学府 橋村京介
九州大学大学院工学研究院 橋本晴行
九州大学大学院工学府 Farouk Maricar
国土交通省青森河川国道事務所 三好朋宏
九州大学大学院工学府 池松伸也・蓮尾斉彦・坂田賢亮

15:50～16:30 【招待講演】 沖縄、島尻層群泥岩分布地域の地すべり

琉球大学農学部 中村 真也・木村 匠
放送大学沖縄学習センター 宜保 清一

16:30～16:40 総 評 「第6回土砂災害に関するシンポジウム」実行委員長 谷口 義信

16:40～16:50 閉会挨拶 「第6回土砂災害に関するシンポジウム」副実行委員長 矢ヶ部 秀美

7. 参加費：4,000円（論文集代2,000円を含む）

8. 定員：200名程度

9. 駐車場：当日参加者は無料、宿泊の場合は700円

10. 懇親会：8月23日シンポジウム終了後、宮崎観光ホテル東館13F「銀河の間」にて懇親会を開催致します（18:00～20:00）。懇親会費：5,000円（当日シンポジウム会場で徴収）。

11. 参加申込方法：下記の申込用紙に所定事項をご記入の上、FAXもしくはE-mailでお申込みいただき、参加費は現金書留、銀行振込もしくは郵便振替でお願いします。

・銀行振込：西日本シティ銀行 赤坂門支店 普通 1134463 公益社団法人土木学会西部支部

・郵便振替：01710-5-30332 公益社団法人土木学会西部支部

入金確認後、FAXで参加証をお送りますので、当日ご持参下さい。

12. 参加申込締切日：平成24年8月17日（金）

13. 参加申し込み先：公益社団法人土木学会西部支部

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目4-12 シー・ティー・アイ福岡ビル2F

TEL (092) 717-6031, FAX (092) 717-6032, E-mail: jsce-w@io.ocn.ne.jp

14. 問い合わせ先 参加費など：支部事務局（TEL：092-717-6031, E-mail: jsce-w@io.ocn.ne.jp）

発表方法など：橋本晴行（九州大学 TEL：092-802-3422, E-mail: hasimoto@civil.kyushu-u.ac.jp）

15. 宮崎観光ホテルへのアクセス方法

〒880-8512 宮崎県宮崎市松山 1-1-1

TEL : 0985-27-1212 FAX : 0985-25-8748

	自動車	バス
宮崎空港より	15分	18分 ”たまゆらの湯”下車で徒歩5分
JR 宮崎駅より	5分	10分 ”橋通1丁目”下車で徒歩10分
宮崎自動車道	10分	—
宮崎港より	10分	20分 ”橋通1丁目”下車で徒歩10分
日向港より	1時間20分	—



第6回土砂災害に関するシンポジウム参加申込用紙

8月23日・24日

連絡先	連絡者			
	所属			
	部署名			
	所在地	(〒)		
	TEL		FAX	
参加者	氏名	所属	懇親会	
			参加する ・ しない	
			参加する ・ しない	
			参加する ・ しない	
			参加する ・ しない	
参加費等	参加費	4,000円× 名 = 円		
	支払方法	現金送金 ・ 郵便振替 ・ 銀行振込		
	送金日	月 日 (済み ・ 予定)		
連絡欄				